

エルコメーター
カバーマスター ソフトウェア
鉄筋探査機331²-SH/TH用
取扱説明書

株式会社 サンコウ電子研究所
東京・大阪・名古屋・福岡・川崎

エルコメーター®・COVERMASTER®・プロトバレは®、エルコメーター社が登録した商標です。
他のすべての商標も認知されています。

©2006 年にエルコメーター社が著作権取得。

すべての権利が保持されています。この書類の一部分でも、エルコメーター社の事前の承認なしに、いかなる形態、あるいは、いかなる方法(電子的、機械的、磁氣的、光学的、マニュアル、その他)であれ、再生、送信、複写、保存(検索可能のシステム、その他)や他の言語への翻訳は許可されません。

この COVERMASTER®を最大限に活用して、利点を得ていただくために取扱説明書を十分にお読み下さい。

Apr. 2007

目 次

セクション	ページ
1. COVERMASTER®に関して	3
1.1 必要システム	3
2. 使用開始	4
2.1 COVERMASTER®のインストール	4
2.2 COVERMASTER®の削除	8
2.3 COVERMASTER®の起動	9
2.4 鉄筋探査機との接続	9
2.5 選択	9
2.6 ヘルプ	10
3. ユーザーインターフェイス	10
4. サンプルデータ	11
5. バッチの使用	12
5.1 バッチテンプレートの作成	12
5.2 バッチのグループ化	13
5.3 鉄筋探査機へバッチテンプレートのアップロード	14
5.4 鉄筋探査機からのバッチデータのダウンロード	14
6. 鉄筋探査機データの使用	15
6.1 測定データと標準レポートの閲覧	15
6.2 レポートウインドウタブのユーザー設定	17
6.3 カスタムレポートの作成	18
6.4 カスタムレポートの閲覧	19
6.5 COVERMASTER®からの印字、PDF 作成、e-mail 送信	20
7. ドキュメントとイメージの使用	21
8. ページデザイナー	22
8.1 ページデザイン	22
8.2 プロパティの編集	23
8.3 文章修正	26
8.4 文章修正データ欄ボタン	27
9. サポート	28

エルコメーター・COVERMASTER®ソフトウェアを購入頂きましてありがとうございました。エルコメーター社の製品のお客様になって頂いたことを心から感謝しています。

エルコメーター社は、コンクリート検査機器の設計、製造、供給に関して世界のリーダーの地位を誇っています。

当社のコンクリート検査製品には、広範囲に亘るコンクリートおよび土木工学に対する検査機器が含まれています。

このエルコメーターの COVERMASTER®ソフトウェアは世界最高の製品です。より多くの情報については、ウェブサイト www.elcometer.com をご覧下さい。

1. COVERMASTER®に関して

COVERMASTER®は鉄筋探査機 331 の設定および、使用法を単純化する強力で且つ使用法の簡単なソフトウェアです。

- ・ パソコン上でバッチテンプレートのデザインおよび、これを現場で使用できるように鉄筋探査機 331 にダウンロードする。
- ・ 鉄筋探査機 331 から測定データを COVERMASTER® データ管理システムにダウンロードする。
- ・ 調査メモ、検査レポート、写真およびすべての他の検査情報を 1 カ所一 COVERMASTER®に保管。
- ・ データがすべてのレベルで容易に理解できるよう構成された、精密かつ専門的なレポートの作成。
- ・ 報告書のPDF（ポータブル ドキュメント フォーマットシステム）版作成および、COVERMASTER®から直接 e メール。

1.1 必要システム

このCDの COVERMASTER®ソフトウェアを使用するには、鉄筋探査機 331 のモデルSHまたはTH、コンピュータ、データ転送ケーブルが必要です。

COVERMASTER®はWINDOWS® 2000 および、XP が入った互換性のあるコンピュータ上で動作します。Mac OS では動作しません。

鉄筋探査機とPCを接続するためにデータ転送ケーブルが必要です。このケーブルはTH、SHタイプに標準付属です。

2. 使用開始

この項は COVERMASTER®をはじめて使用するユーザーを対象にしたものです。ソフトを使用する前にやらなければならないステップ —— 作業環境のカスタマイズ法および、ヘルプ参照箇所を説明しています。

2.1 COVERMASTER®のインストール

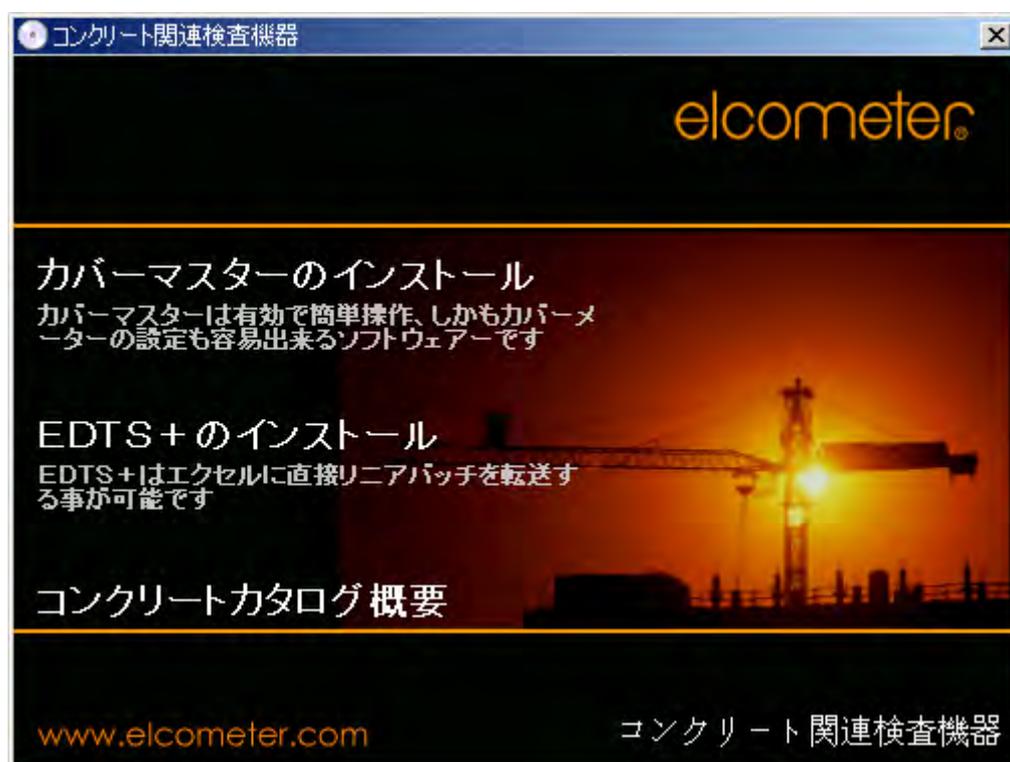
ソフトウェア COVERMASTER® をPCにインストールする方法

1) PCのCDドライブにCOVERMASTER®のCDを挿入

ソフトウェアインストールウィザードが自動起動します。

もし自動的に起動しない場合は、

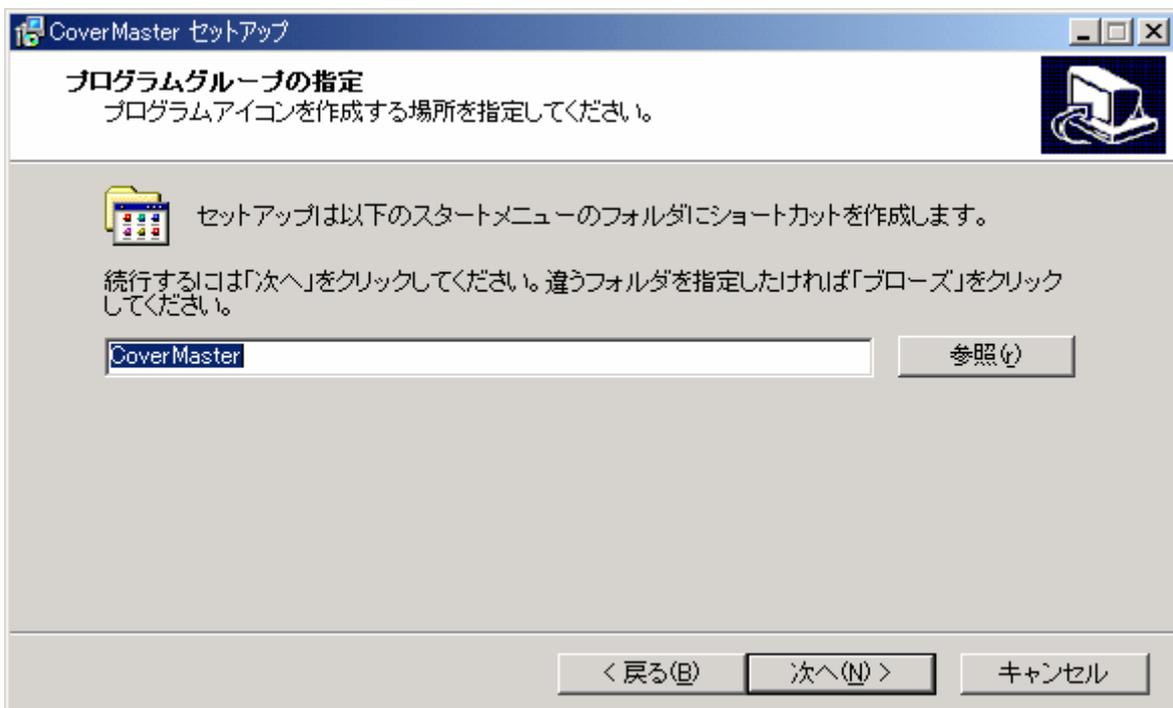
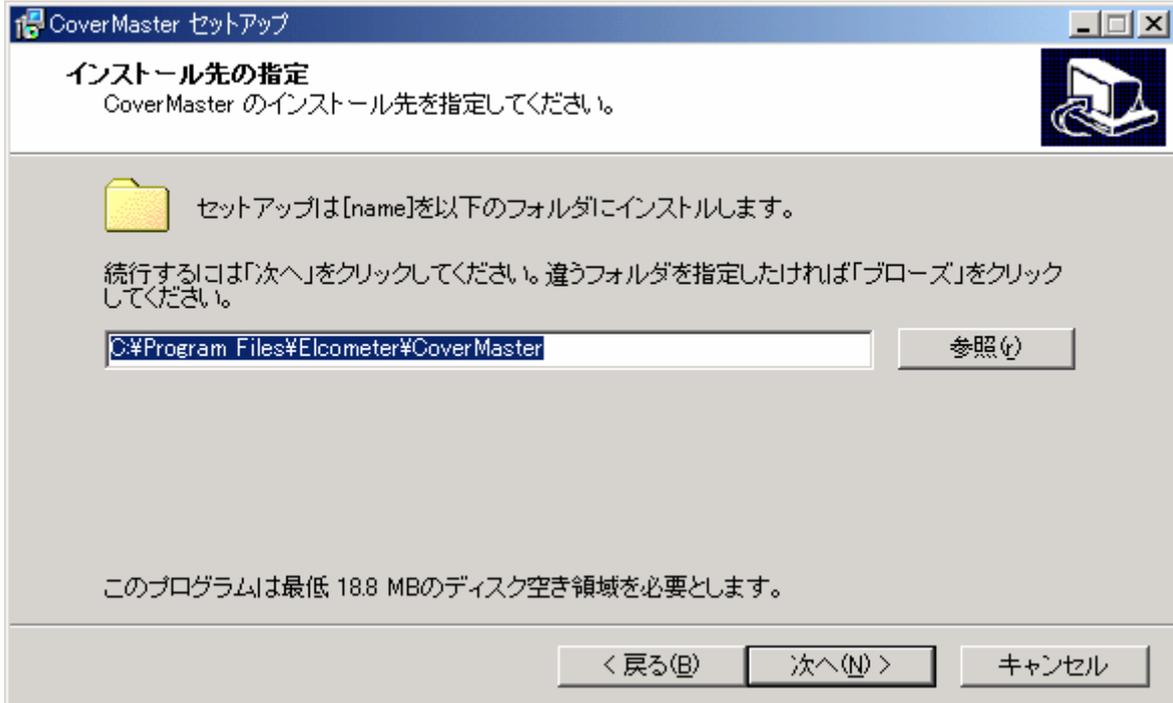
- ・スタート → ファイル名を指定して実行
- ・「参照」をクリックしCDの入ったドライブを選び → AutoCSS.exe をダブルクリック → ソフトウェアインストールウィザードが開始します。

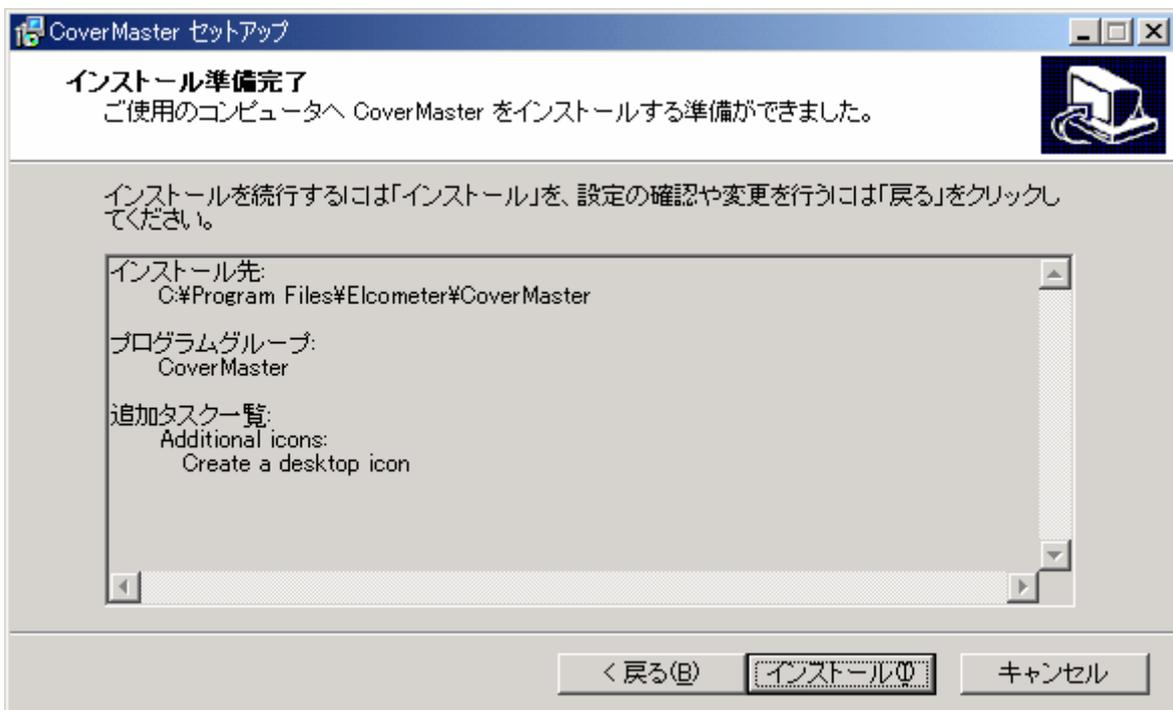


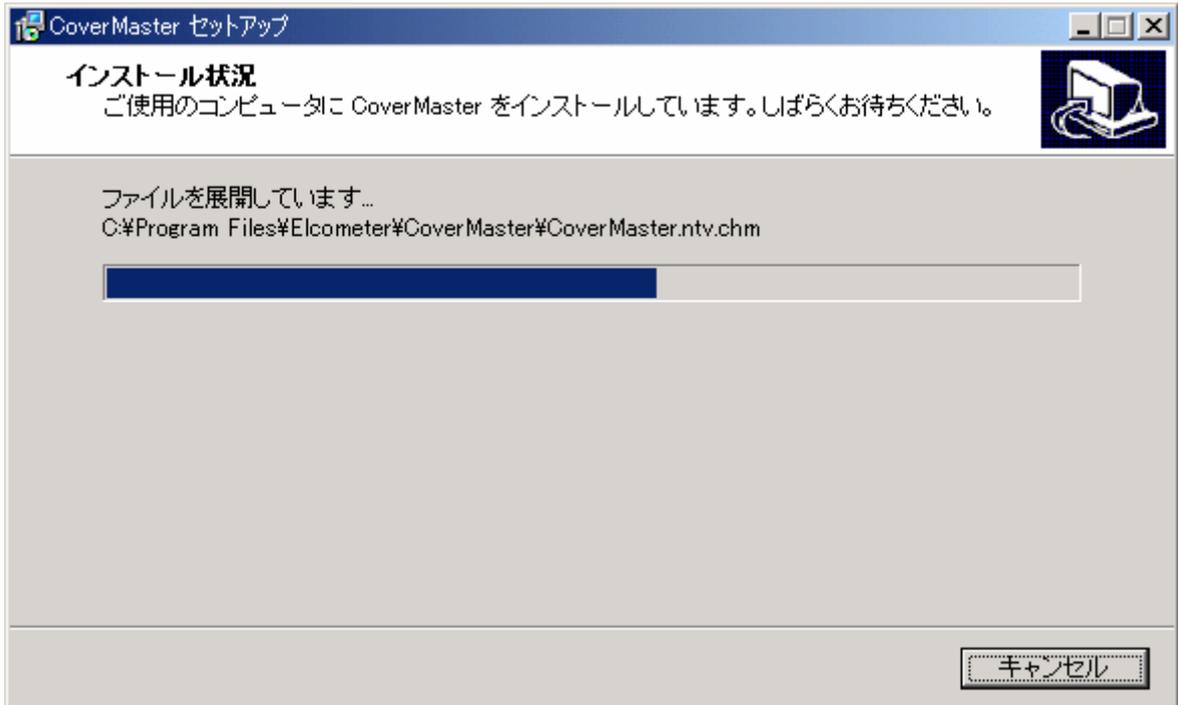
2) この後は、画面上のインストールウィザードに従って下さい。











2.2 COVERMASTER®の削除

COVERMASTER®ソフトウェアを削除するには、プログラムを削除するために行う通常のWINDOWS®の手順に従って行って下さい。

2.3 COVERMASTER®の起動

他のソフトウェアを起動する場合と同様に COVERMASTER®を起動して下さい。

- ・ スタート → プログラム → Cover Master → Cover Master

2.4 鉄筋探査機との接続

情報を鉄筋探査機^aとやりとりする場合は、コンピュータと鉄筋探査機を接続しなければなりません。

鉄筋探査機の接続方法

1. データ転送ケーブルの一端の9ピンメス型Dタイプコネクタをパソコンの com ポート^bに接続します。
2. データ転送ケーブルの他端の 5 ピンコネクタを鉄筋探査機 裏面のアクセスカバー下にある RS-232C コネクタに接続します。
3. 鉄筋探査機のスイッチを ON し、測定値画面が表示されていることを確認します。

a) 鉄筋探査機がコンピュータに接続されていなくても、バッチテンプレートの作成、すでにダウンロードされているデータの閲覧、レポートの作成に COVERMASTER®を使用する事が出来ます。

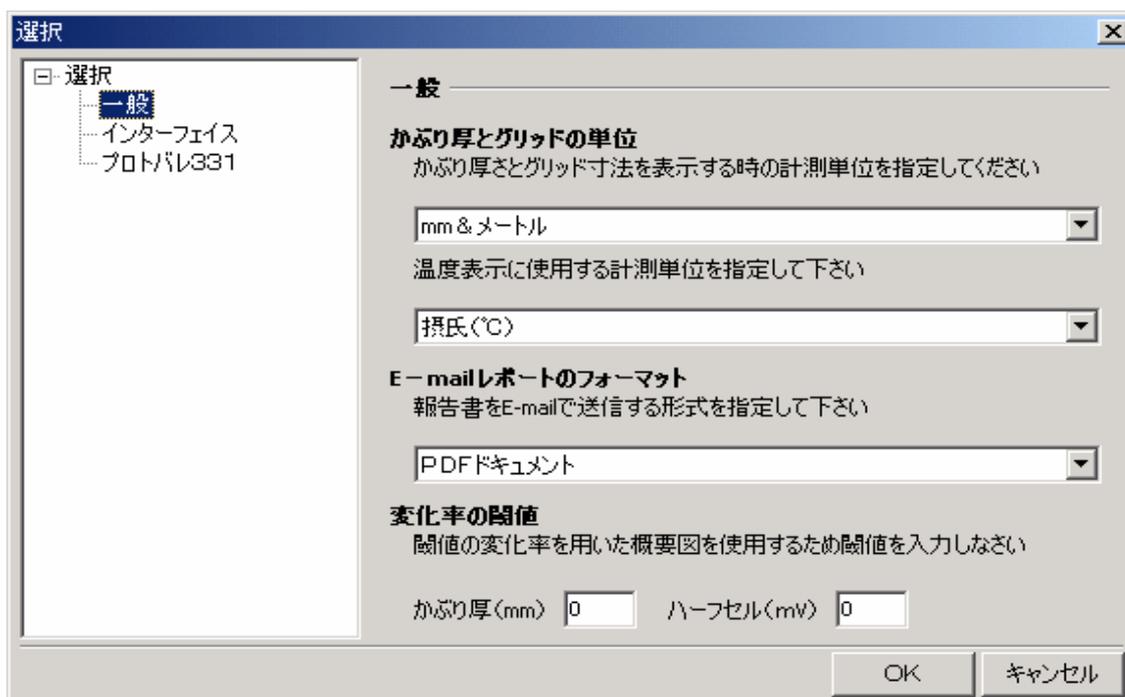
b) PCに RS-232C コネクタが無い場合、RS232C-USB 変換ケーブルをご利用下さい。このケーブルは市販の物で流用できます。

2.5 選択

COVERMASTER®の作業環境をカスタマイズするためには、このメニュー(選択)を使用します。(ファイル → 選択)

計測単位としてメートルまたはインペリアル規格、eメールレポートフォーマット(PDFまたはJPEG)、変化率の閾値^c、レポートページのサムネイル画像品質を選択します。

鉄筋探査機 331 が接続されている com ポートをセットします。



2.6 ヘルプ

ソフトウェア COVERMASTER®に対するヘルプはファイルで提供されます。
このヘルプファイルのPDFバージョンは COVERMASTER®CDに含まれています。
もしこのヘルプファイルのいずれかのセクションを印刷する必要がある場合は、このPDFバージョンから印刷して下さい。
鉄筋探査機 331 のヘルプが必要ならば、COVERMASTER®に含まれている操作説明の2項を参照下さい。
質問に対する回答が得られない場合は、販売店にお問い合わせ下さい。

- c) 変化率の閾値は、設定されるだろう、いかなる上限値および、下限値とも無関係の任意の下限値です。
これは一般にある値より低い測定値を注目させるために使用されます。変化率の閾値は概要レポートにのみ適用されます。23ページの“8.2 プロパティの編集”の中の変化率の方法を参照下さい。

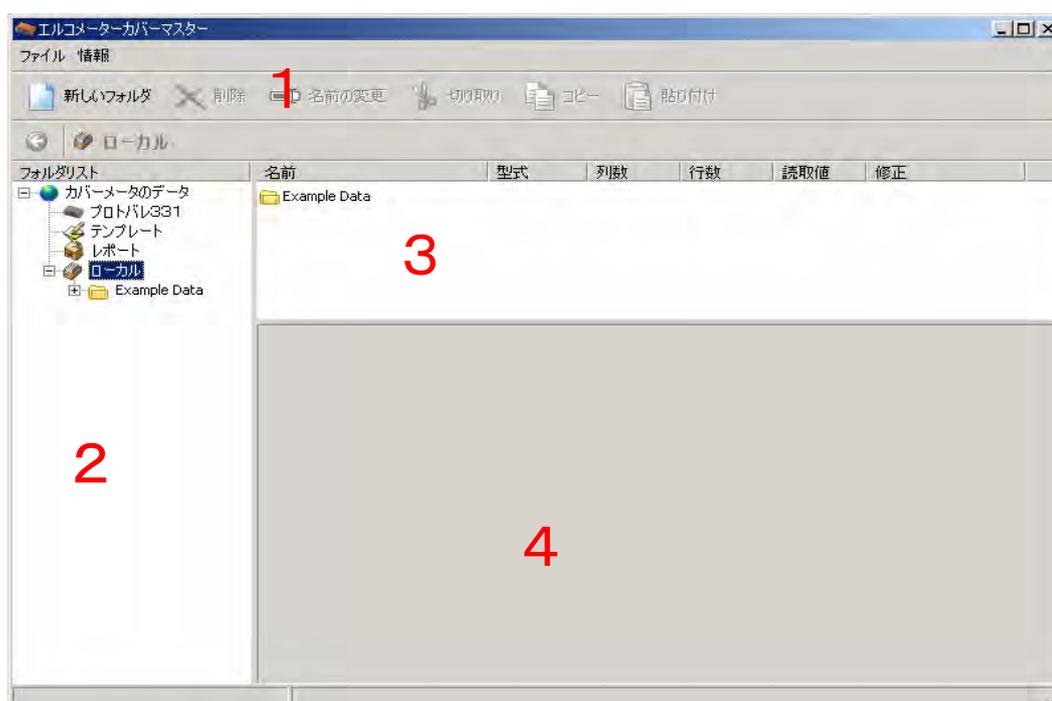
3. ユーザーインターフェイス

COVERMASTER®のユーザーインターフェイスは WINDOWS®エクスプローラの標準インターフェイスに非常によく似ています。

1. ツールバー: カット、コピー、削除、アップロード、ダウンロード等
2. エクスプローラウインドウ: パソコンおよび鉄筋探査機のファイル・フォルダのリスト
3. リストウインドウ: フォルダ内のファイルまたは鉄筋探査機のファイルのリスト
4. レポートウインドウ: ファイルの内容を表示(このウインドウを最大または、最小にするためにはこのウインドウの左角にある  をクリックします。)

多くのメニューコマンドおよびアクションは各ユーザーインターフェイスウインドウの中で右マウスボタンをクリックすることでアクセスできます。

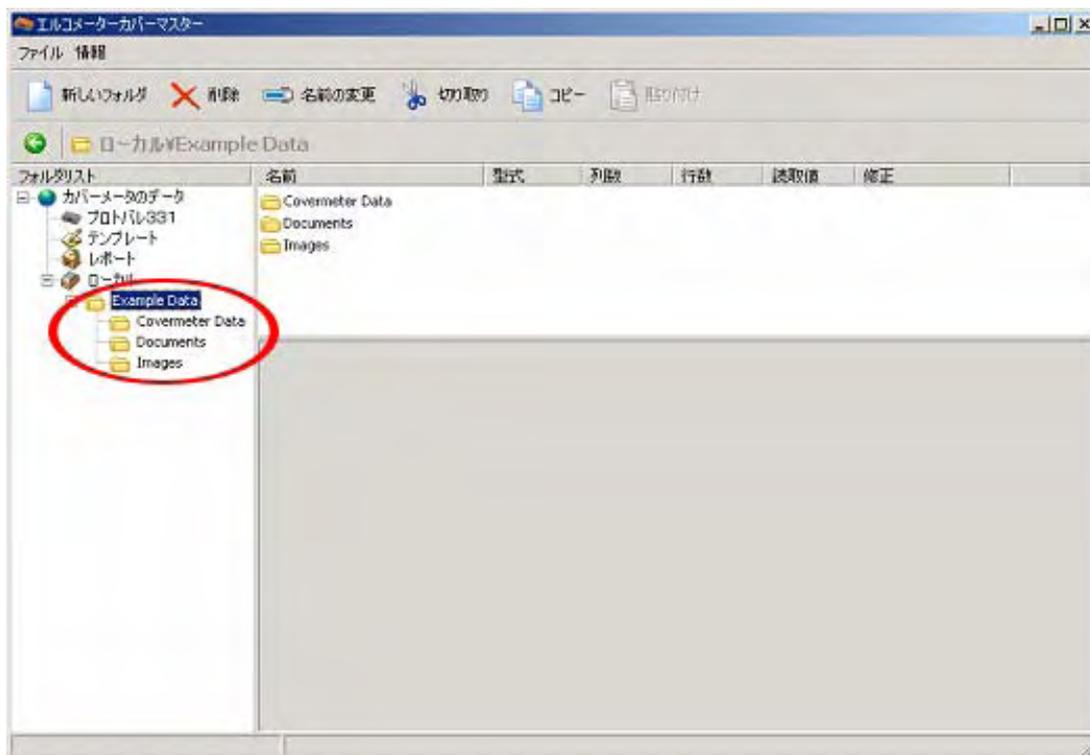
COVERMASTER®を使用していく中で、どちらの方法(ボタン又は右クリック)が使い易いかみつけて下さい。



4. サンプルデータ

COVERMASTER®ソフトウェアをインストールするとき、サンプルデータ一式がローカルフォルダに作成されます。このフォルダについてはエクスプローラウインドウを見て下さい。

このローカルフォルダの内容を確認して下さい。ファイルにはリニアとグリッドのバッチデータを選択、文書とイメージが入っています。



サンプルデータはサンプルテンプレート(ご使用の鉄筋探査機へのアップロード用)とサンプルレポートを含みます。これらのテンプレートとレポートを使用して実験すれば、すぐに COVERMASTER®の基礎と何が出来るかを学ぶでしょう。サンプルデータを消去することは(例えば、COVERMASTER®について学び終えたとき) COVERMASTER®ソフトウェアの操作に支障はありません。

5. バッチの使用

この項では、COVERMASTER®ソフトウェアが、鉄筋探査機331と共にどのようにバッチを作成し、転送するのに使用されるかを説明します。

注) グリッドバッチは331SHにはアップロードできません。

- バッチテンプレートの作成
- バッチのグループ化
- 鉄筋探査機へのバッチテンプレートのアップロード
- 鉄筋探査機からのバッチデータのダウンロード

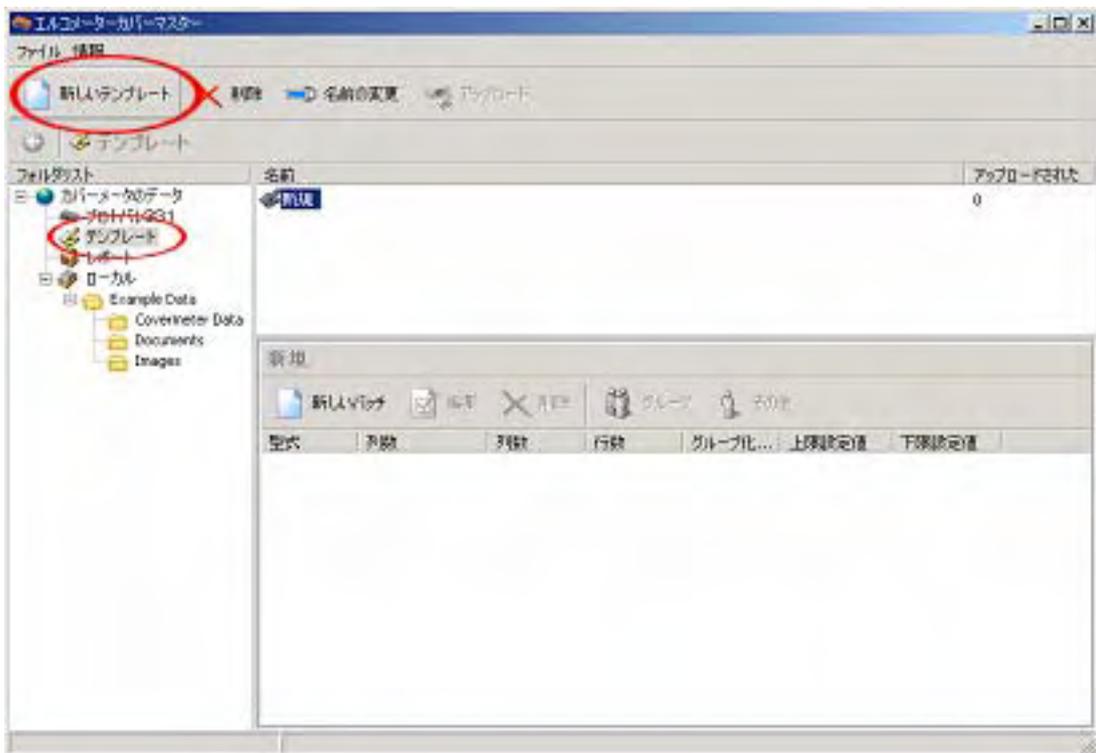
5.1 バッチテンプレートの作成

PCでバッチテンプレートを作成し、現場で使用出来るように鉄筋探査機 331 にそのテンプレートをアップロードします。

いずれのテンプレートも複合バッチを含む事が出来ます。

バッチテンプレートの作成:

1. エクスプローラウィンドウで“テンプレート”をクリック
2. ツールバーの「新しいテンプレート」をクリック



3. テンプレートの名前を付け、リターンを押す
4. レポートウィンドウで「新しいバッチ」をクリックし、「かぶり厚バッチ」または「ハーフセルバッチ」を選択。テンプレートバッチウィザードが始まります。
5. バッチを定義するために、ウィザードの指示に従って下さい。(グリッド/リニア、容量、スペースと限界値)
6. 「完了」をクリックしてバッチテンプレートを保存します。
かぶり厚バッチは青いアイコンで確認できます。ハーフセルバッチは黄色いアイコンで確認できます。
7. テンプレート内のバッチは必要に応じて編集または削除できます。
レポートウィンドウの編集または削除ボタンをクリック。

5.2 バッチのグループ化

COVERMASTER®は検査でのかぶり厚さとハーフセル電位測定を簡単で見易い図表に結合するレポートを含みます。

これらのレポートは、COVERMASTER®が最初にインストールされた時に「マイレポート」に入っている「結合タイプ」と「上書きタイプ」です。

これらのレポートは同名の一对のレポートにのみ使用できます。(ひとつのバッチはかぶり厚測定で、もうひとつはハーフセル電位測定)

もしバッチを作成していてこれらのレポートを使用したいのならば **Ctrl** キーを押したまま同じ名前にしたい 2 つのバッチをクリックし、「グループ^d」ボタンをクリックします。鉄筋探査機にそのバッチがアップロードされる時は、その 2 つのバッチは同じ名前を持っています。

d) バッチのグループ化を解除する時は「その他」ボタンをクリックします。

5.3 鉄筋探査機へバッチテンプレートのアップロード

一度テンプレートを作成すれば、現場で使用できるように鉄筋探査機 331 にそのテンプレートを転送(アップロード)できます。

始める前に:

PCに鉄筋探査機 331 を接続し、鉄筋探査機の電源が ON か確認して下さい。
 (“2.4 鉄筋探査機 331 の接続”を参照)ダウンロードと/またはアップロードボタンが選択可能で、準備が整っていればステータスバーに「接続完了」が表示されます。
 接続を再確認するには「リフレッシュ」ボタンをクリックして下さい。

バッチテンプレートのアップロード:

1. エクスプローラウインドウの「テンプレート」をクリック
2. リストウインドウのアップロードしたいテンプレートをクリックします。ひとつ以上選択する時は、**Ctrl** キーを押しながら必要なテンプレートをクリックします。
3. ツールバーの「アップロード」をクリック。アップロードウィザードがスタートします。
4. いずれのバッチも鉄筋探査機にアップロードする時に名前(バッチID)が付けられます。バッチIDはテンプレート名とナンバーから派生します。ナンバーはバッチ順(各バッチはテンプレート内の順により番号付けされる)または、アップロード数(各バッチは何回アップロードされているかで番号付けされる)のいずれかにより付けられます。もし、鉄筋探査機にバッチデータをコピーや上書きしたいのならば「バッチ順」を選びます。もし、常に独自のバッチを作成したいのならば「アップロード数」を選びます。
5. テンプレート内すべてのバッチのヘッダーフィールドへコピーされる初期タグ(英数字情報)を入力。
6. テンプレート内の特定のバッチに付けるタグ(英数字情報)を入力。これらのタグは前のステップで定義された情報を上書きします。
7. 「終了」をクリックしてテンプレートをアップロードします。

5.4 鉄筋探査機からのバッチデータのダウンロード

鉄筋探査機で測定するとき、バックアップ、分析、レポート作成に向けて、読取値を COVERMASTER®ソフトウェアへ転送(ダウンロード)出来ます。

始める前に:

PCに鉄筋探査機 331 を接続し、鉄筋探査機の電源が ON か確認して下さい。
 (“2.4 鉄筋探査機 331 の接続”を参照)ダウンロードと/またはアップロードボタンが選択可能で、準備が整っていればステータスバーに「接続完了」が表示されます。接続を再確認するには「リフレッシュ」ボタンをクリックして下さい。

バッチテンプレートのダウンロード:

1. エクスプローラウインドウの「エルコメーター331」をクリック
2. リストウインドウでダウンロードしたいテンプレートをクリックします。ひとつ以上選択する時は、**Ctrl** キーを押しながら必要なテンプレートをクリックします。
3. ツールバーの「ダウンロード」をクリック。
4. ダウンロードしたデータを保存したいフォルダを選び「OK」をクリックしてデータをダウンロードします。

6. 鉄筋探査機のデータの使用

この項では、一度鉄筋探査機のバッチデータが COVERMASTER®にダウンロードされると何が出来るかを説明します。

- ・測定データと標準レポートの閲覧
- ・レポートウインドウタブのユーザー設定
- ・COVERMASTER®からの印字、PDFファイル作成、e-mail
- ・カスタムレポートの作成
- ・カスタムレポートの閲覧
- ・文章、イメージの使用

6.1 測定データと標準レポートの閲覧

ダウンロードされた測定データの閲覧と修正、標準レポートの作成は、COVERMASTER®ソフトウェアを使用すれば早く簡単です。

測定データの閲覧と修正:

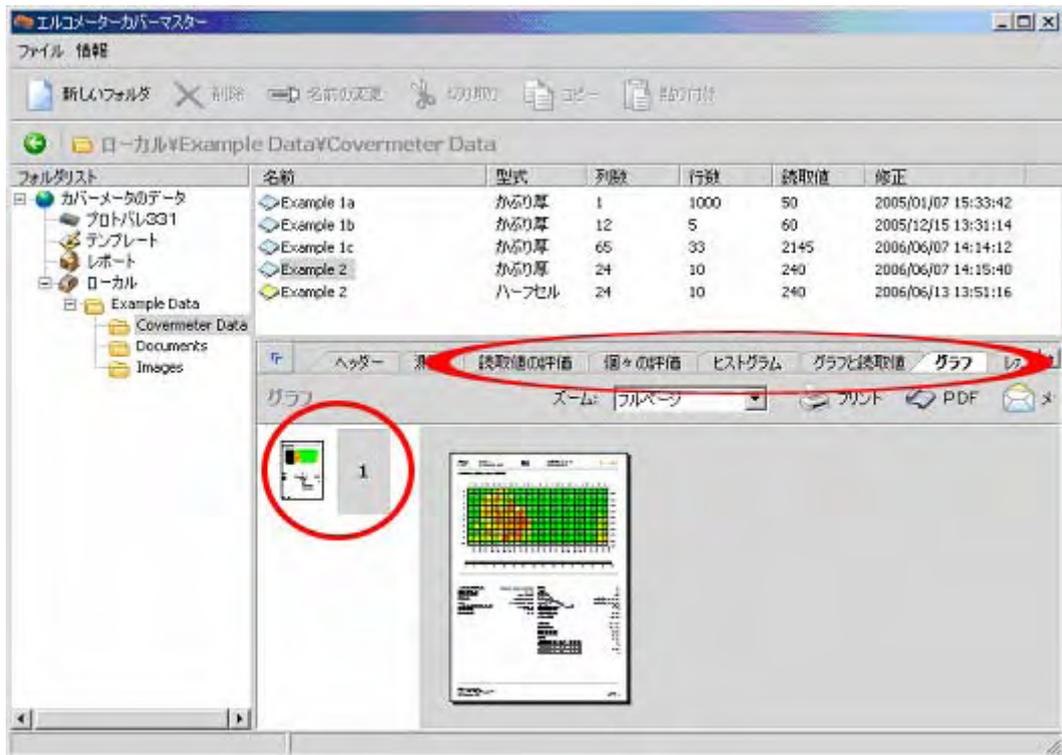
1. エクスプローラウインドウでデータが保管されているフォルダを開く。
2. リストウインドウで閲覧したいバッチをクリック。ひとつ以上のバッチを選択するときは **Ctrl** キーを押しながら必要なバッチをクリック。レポートウインドウで、測定タブをクリック。測定データが表示されます。
3. すべてのデータは測定タブ上で、簡単に上書き修正できます。列、行、限界値、メモ、etcを修正するには、ヘッダータブをクリックし変更してください。
注)ヘッダータブで、列と行数を減らすときには、データが削除されるので注意して下さい(警告が与えられます)。測定タブでのデータ変更はいずれも即実行され、元には戻りません。

The screenshot shows the COVERMASTER software interface. On the left, a file explorer displays a tree structure with folders like 'カバメータのデータ', 'プロトタイプ31', 'テンプレート', 'レポート', and 'ローカル'. Under 'ローカル', there are sub-folders 'Example Data', 'Covermeter Data', 'Documents', and 'Images'. The main window shows a table with columns for '名前', '型式', '列数', '行数', '読取値', and '修正'. The '測定' tab is selected in the table's header. The table contains the following data:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	30	42	39	33	26	18	24	33	38	44	50	47	46	47	48	50
2	41	42	33	19	18	16	26	24	37	41	49	45	45	45	49	55
3	42	43	19	18	17	20	27	14	33	33	48	50	52	50	52	47
4	43	38	19	16	15	15	15	13	19	15	48	45	55	45	52	55
5	38	34	18	14	19	12	16	19	12	14	47	47	56	45	51	55
6	32	33	18	19	16	11	14	13	10	11	13	44	46	46	50	53
7	38	23	31	19	23	15	16	16	12	13	14	38	55	45	47	52
8	33	34	26	12	24	18	15	12	11	24	22	44	44	48	55	46
9	26	26	23	24	25	19	11	18	12	23	29	37	55	49	49	48
10	29	27	28	27	34	28	23	27	22	33	29	46	55	50	49	44

標準レポートの閲覧:

1. エクスプローラウィンドウでデータが保存されているフォルダを開いて下さい。
2. リストウィンドウで閲覧したいバッチをクリック。ひとつ以上のバッチを選択するときは **Ctrl** キーを押しながら必要なバッチをクリック。
3. レポートウィンドウで必要なタブをクリックします。グラフ、グラフと読取値、読取値の評価など。
4. レポートの各ページを閲覧するには、レポートウィンドウの左側にあるレポートのサムネイルをクリックします。スクリーン上のレポートのサイズを調整するには、ズームプルダウンリストを使います。

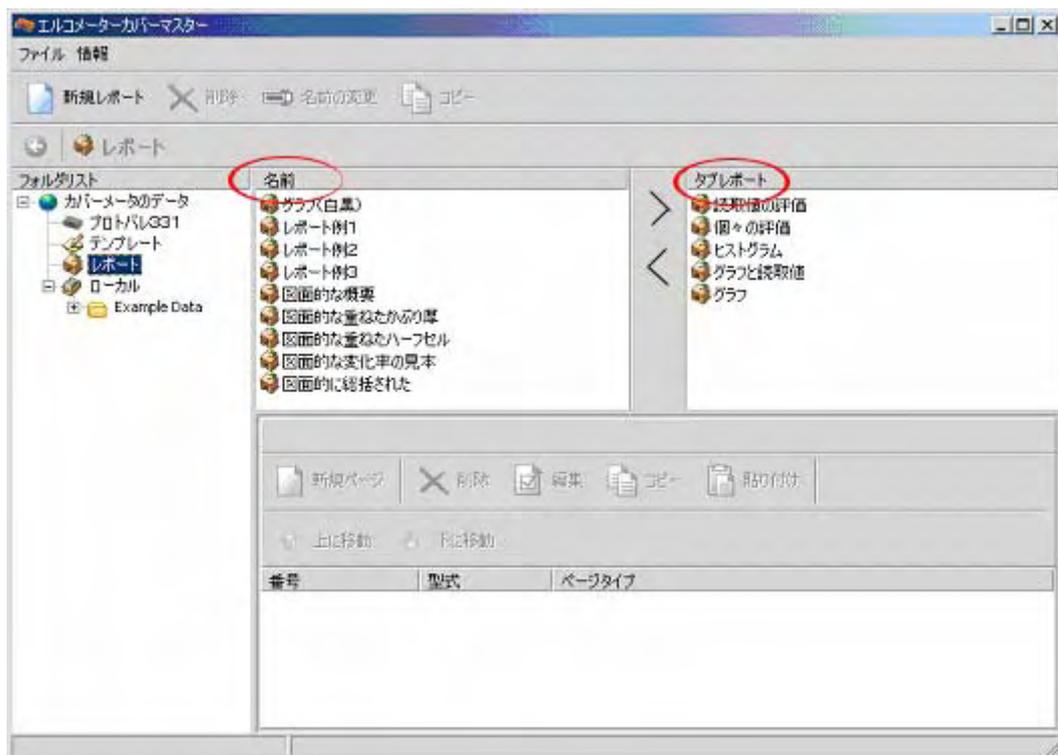


6.2 レポートウインドウタブのユーザー設定

ヘッダー、測定とレポートタブは常にレポートウインドウ上で見られます。

他のすべてのタブ(およびユーザー定義のタブ)は追加または削除が出来ます。

1. エクスプローラウインドウで「レポート」をクリック。
2. リストウインドウで「タブレポート」欄の全てのレポートがレポートウインドウ内にタブとして現れます。この欄からレポートを追加または削除するには2つの欄の間にある矢印「>」または「<」を使います。
 - ・ 削除不可な標準レポートと、削除可能なユーザー定義のレポートの2種があります。

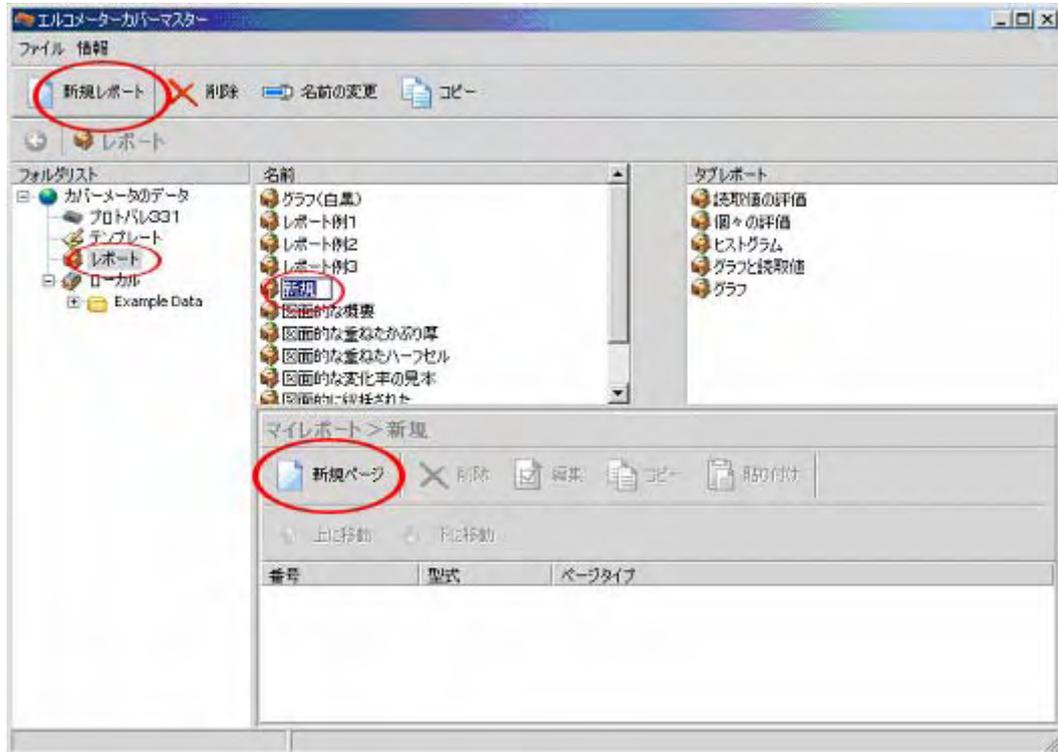


6.3 カスタムレポートの作成

COVERMASTER®によって供給される標準レポートは、おそらく必要とするレポートの多くを満たすでしょう。しかしながら、これらのレポートをもしユーザー設定する必要、または新しいレポートを作成する必要がある場合は、COVERMASTER®に含まれているレポートデザイナーを使います。

カスタムレポートを作成する:

1. エクスプローラウインドウで「レポート」をクリック。

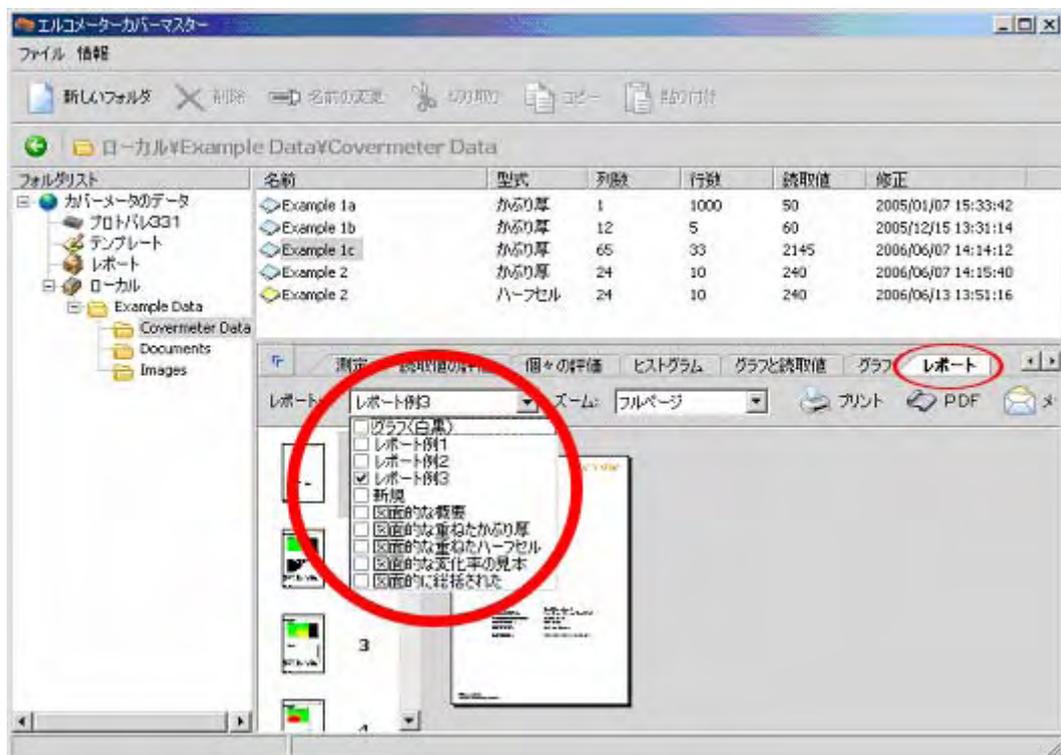


2. ツールバーで「新規レポート」をクリック。
3. レポート名を付けてPCのリターンキーを押す。
4. レポートウインドウで「新規ページ」をクリックし、「最初のページ・ページ詳細・最終ページ」のなかのページタイプを選びます。
 - 最初のページ:レポートのタイトルページとして使われる。
文章、図形、グラフを含むことが可能。読み取りデータの表示には使われない。レポート印字時に最初に印字する。
 - ページ詳細:読み取りデータの表示に使われる。(概略、読取值、ヒストグラム、作業)レポート印字の時に中間に印字する。
 - 最終ページ:レポートメモ、要約ページに使われる。文章、図形、グラフを含むことが可能。読み取りデータの表示には使われない。レポート印字時に最後に印字される。新規ページがレポートウインドウに表示されます。
5. レポートウインドウのページをクリックし、「編集」ボタンをクリック。ページデザイナーが開始します。
6. レポートを定義するには“8 ページデザイナー”に従って下さい。
7. 終了するときにレポートレイアウトを保存するには、「保存」をクリックして下さい。

6.4 カスタムレポートの閲覧

カスタムレポートを閲覧する:

1. エクスプローラウインドウでデータが保存されているファイルを開いて下さい。
2. リストウインドウで閲覧したいバッチまたは COVERMASTER®バッチをクリックします。バッチをひとつ以上選ぶには、**Ctrl** キーを押しながら必要なバッチをクリックします。
3. レポートウインドウで「レポート」タブをクリックし、レポートドロップダウンリストからレポートを選びます。
4. レポートの各ページを見るには、レポートウインドウ左側のレポートのサムネイルをクリックします。画面上のレポートサイズを調整するには、ズームドロップダウンリストを使います。

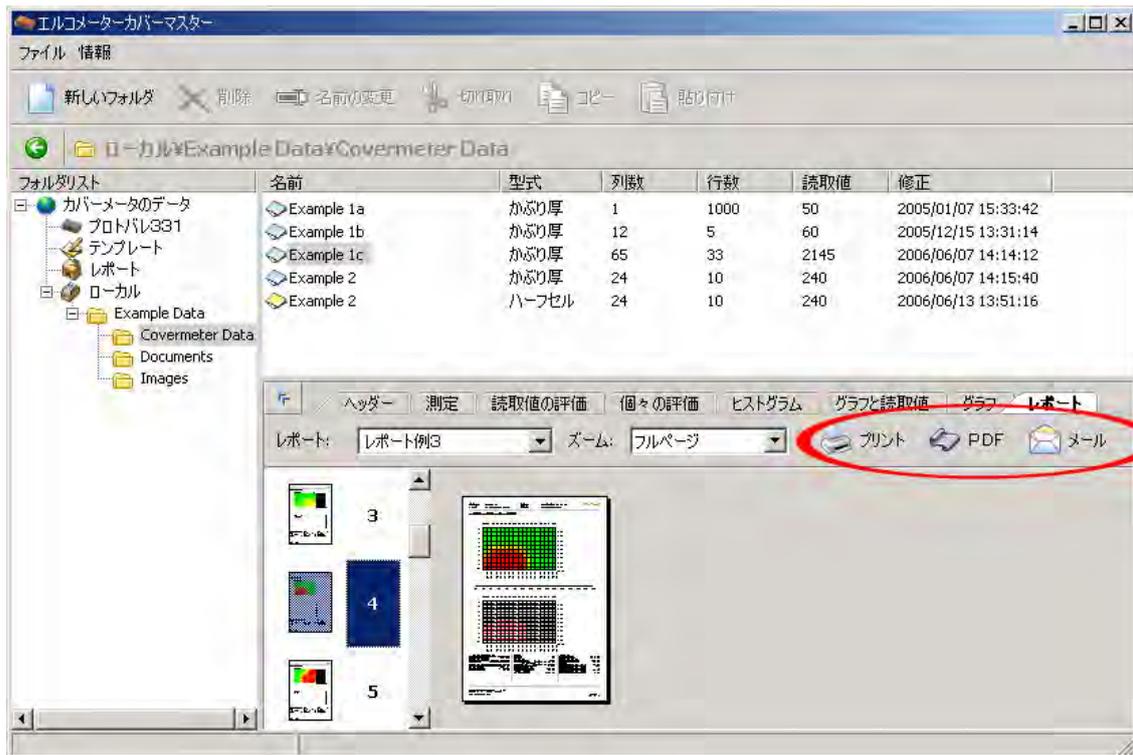


6. 5 COVERMASTER®からの印字、PDF作成、e-mail 送信

現時点でレポートウィンドウに表示されているいずれのレポートも：

- ・ 印字できる
- ・ アドビ®PDF (ポータブル・ドキュメント・フォーマット)ファイルとして保存できる。
- ・ 添付®として e-mail で送信できる。

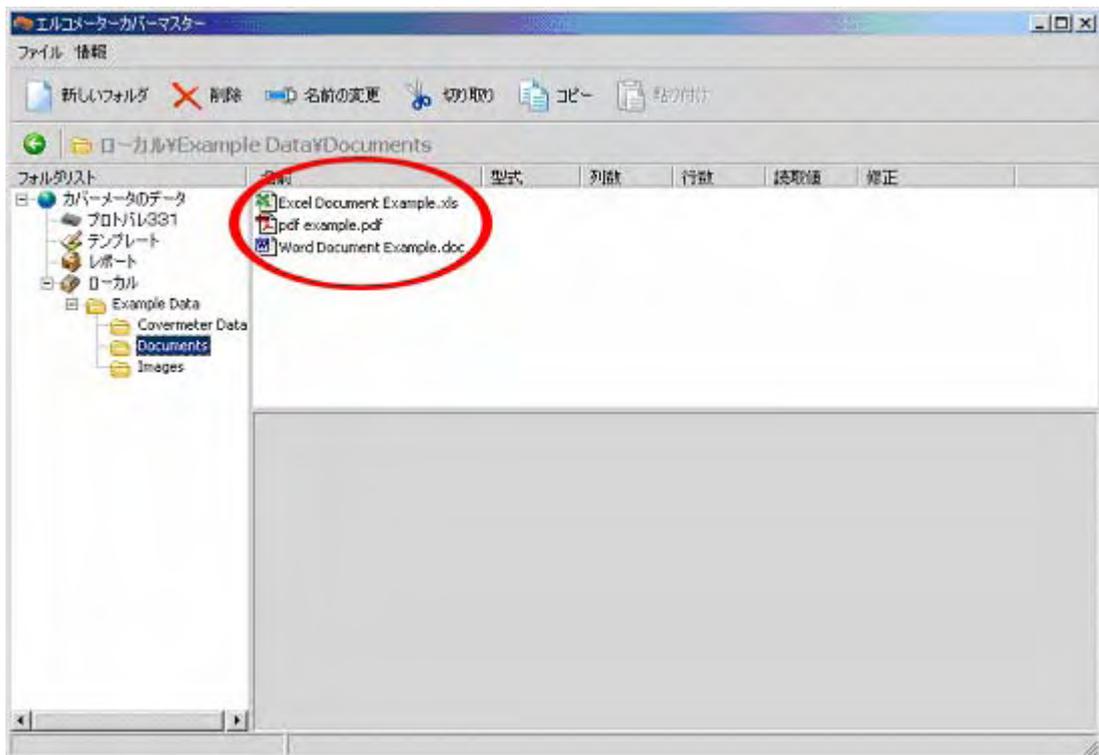
レポートウィンドウで適切なボタンをクリックし、標準的なWindows®の指示に従って下さい。



e) ファイル > 選択 > 一般又は全般 でe-mail 添付のフォーマット(PDFファイルまたは JPEG イメージ)を選んで下さい。

7. ドキュメントとイメージの使用

ドキュメント、イメージ、他の重要なファイルを保存するのに COVERMASTER®を使います。これらのファイルを検査現場、場所、顧客などでグループ分けします。ドキュメント、イメージまたは他のファイルタイプを保存するには標準的なWindows®の“ドラッグアンドドロップ”または、“コピーアンドペースト”技法を使ってリストウインドウにファイルを置いて下さい。

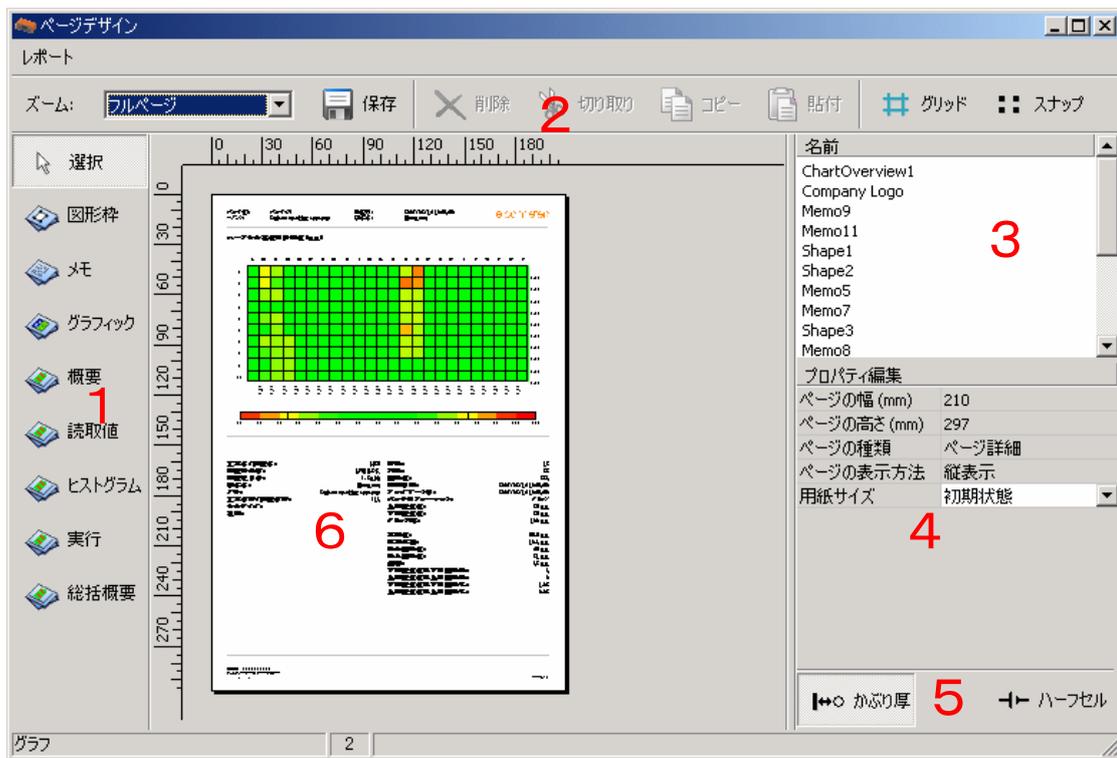


8. ページデザイナー

この項ではページデザイナー (COVERMASTER®の中に組み込まれてるレポートを作成したり、ユーザー設定できるプログラム) の使い方を説明します。ページデザイナーはユーザー独自のレポートを作成している時に開始します。“6. 3 カスタムレポートの作成”を参照。

- ・ ページデザイン
- ・ プロパティ編集
- ・ 文章修正

1. オブジェクト抜粋ウィンドウ
2. ツールバー
3. オブジェクト選択ウィンドウ
4. プロパティ編集
5. かぶり厚／ハーフセル選択ボタン
6. ページレイアウトウィンドウ



8.1 ページデザイン

ページの中身は、図形、メモ、読取值などといった“オブジェクト”です。

ページにオブジェクトを追加するには、オブジェクト抜粋ウインドウ(1)の中のオブジェクトを選び、カーソルをページレイアウトウインドウへ動かし、クリックして必要なサイズにオブジェクトをドラッグします。一度オブジェクトが作成されると、ドラッグで移動でき、オブジェクト端周囲のハンドル上をドラッグしてリサイズできます。

オブジェクトのレイアウト、属性、中身の精密なコントロールは、プロパティ編集(4)の中のオブジェクトプロパティを修正することによって可能です。

ページに読取值またはチャートを追加するときは、「かぶり厚」か、「ハーフセル」かを選択するのに、選択ボタン(5)を使います。

オブジェクトがページに追加される時、オブジェクト名がオブジェクト選択ウインドウ(3)に現れます。

ツールバー(2)上のボタン、ズーム、保存、削除、切り取り、コピー、ペーストは標準的な Windows®技法で使います。

8.2 プロパティの編集

オブジェクトのレイアウト、属性、中身の精密なコントロールはプロパティ編集を用いてオブジェクトプロパティを修正すれば可能です。

プロパティ編集で調整できるオブジェクトプロパティは、下記にリストされています。プロパティのリストは選択されたオブジェクトのタイプによって有効です。(図形枠、メモ、グラフィック、概要チャートなど)

プロパティ	説明
3D:	3次元または2次元のヒストグラムと実行チャートを選択
整列:	メモブロック内の文章の整列（上寄せ、中間、左寄せ、右寄せなど）
定着:	ブロックがページにどのように定着するか定義する 定着位置はもしページサイズが変更になっても持続する
縦横比	範囲ボックス内にどうグラフィックが収まるか定義する
バーカラー	ヒストグラム上のバーの色
バー間隔	ヒストグラム上でバーとバーの間にスペースを置く
バッチタイプ	かぶり厚バッチまたはハーフセルバッチ
太字	メモブロック内の文章を太字にする
セルカラー	セルに背景色があるか、背景色がないかを定義する
セルフォントサイズ	セル内の文章サイズ
セル文章	文章がセル内に表示されるかどうかを定義する
チャートタイプ	実行チャートが折れ線又は棒グラフどちらで表示されるか定義する
塗りつぶし色	図形の塗りつぶし色
塗りつぶしスタイル	図形の塗りつぶしスタイル(無地、対角線、斜線など)
フォントカラー	メモブロック内の文章色
フォント名	フォントタイプを定義する(Arial、Times など)
フォントサイズ	メモブロック内の文章サイズ(ポイント単位)
色変化の方法	なし:色変化なし 警告:上/下限値を使った色変化(警告リミットも参照) 最大最小:最小と最大読取値間の色変化 限值:下限と上限間の色変化 しきい値:緑/白=上しきい値 しきい値:赤/黒=下しきい値(2. 5 選択 参照)
グラフィック	グラフィックファイルの選択
グレースケール	グラフィックをグレースケール又はカラーで表示する
グリッド	ヒストグラムと実行チャートにグリッドラインを表示する
ページごとのグリッド列	レポートの 1 ページに表示されるグリッドバッチの列数 (ページごとのグリッド行も参照)
グリッドライン方法	全てのセルの周り、又はグリッドラインスペースプロパティで定義されたセルグループの周りにグリッドラインを引く
グリッドライン	グリッドラインが目に見えるか定義する
グリッドラインスペース	グリッドライン間のスペースを定義する (上項の“グリッドライン方法”も参照する)
ページごとのグリッド行	レポートの 1 ページに表示されるグリッドの行数 “ページごとのグリッド列”も参照
高さ(mm)	mm 単位のオブジェクト高さ
斜体	メモブロック内の文章が斜体か真っ直ぐかを定義する

プロパティ	説明
キーステップ	概要と読取値のチャート上のカラーキーバーの解像度を定義する。2~15で調整可能
左(mm)	ページの左端とブロックの左端の間隔を定義する(“上”も参照)
ページごとのリニア列	レポートの1ページに表示されるリニアバッチの列数(ページごとのリニア行も参照)
ページごとのリニア行	レポートの1ページに表示されるリニアバッチの行数(ページごとのリニア列も参照)
ラインカラー	図形の境界線の色を定義する
ラインスタイル	図形の境界線のスタイルを定義する(ソリッド、ダッシュ、ドットなど)
ライン幅	図形の境界線の太さを定義する
名前	オブジェクト名を定義する。オブジェクト名はオブジェクト選択ウインドウに表示されます
ページ幅(mm)	mm単位でページ幅を定義
ページ高さ(mm)	mm単位でページ高さを定義
ページタイプ	ページタイプを定義:最初のページ、ページ詳細、又は最終ページ
ページ向き	縦長(初期設定)または横長
用紙サイズ	用紙寸法:A3、A4、Letter など
主要なバッチタイプ	結合された概要オブジェクト用。読取値(かぶり厚又はハーフセル)のどちらのタイプをグラフで表し、どちらのタイプを値で表示するかを定義する
形	オブジェクトタイプを形作る:長方形、水平線又は垂直線
凡例表示	カラーキーバーと凡例が見えるかどうか定義する
マークフレーム表示	ヒストグラム上の頻繁な値の周りにボックスを置く
正方形のセル	グリッドセルを正方形にするのかどうか定義する
取消線	メモブロック内の文書スタイルを取り消しにするか定義する(取り消し)
文章	文章修正を開く
上(mm)	ページの上端とブロックの上端の間隔を定義(“左”も参照)
下線	メモブロック内の文章スタイルを下線にするか定義(下線)
限值かぶり厚の警告(mm)	色変化の方法=警告の時のみ有効 警告色を発するかぶり厚限值の周囲の値を、概要、読取値、結合チャートに表示するかを定義
限值ハーフセルの警告(mV)	色変化の方法=警告の時のみ有効 警告色を発するハーフセル限值の周囲の値を概要、読取値、結合チャートに表示するかを定義
幅(mm)	mm 単位でのオブジェクト幅
文字繰り越し	メモブロック内の文章を下の行に繰り越すかどうか定義

8.3 文章修正

ページデザイナーのページレイアウトウインドウ上に文章やデータ欄を入力するのに文章修正を使います。

文章修正を開くにはページデザイナーのテキストフィールド内のボタンをクリックします。

配列(左, 中央, 右) 頂部左	
配置(頂部左, 頂部 [左, 頂部])	
バッチタイプ	かぶり厚バッチ
太字	表示する
フォントカラー	clBlack
フォント名	Arial
フォントサイズ	10
項目の高さ (mm)	10
斜体	表示しない
項目の左余白 (mm)	10
項目の名前	Memo20
取消線	表示しない
テキスト	<input type="text"/>
項目の上余白 (mm)	150
項目のアンダーライン	表示しない
項目の幅 (mm)	55
テキスト項目を囲む	表示しない

- 文章を入力するには文章修正ウインドウをクリックして文章を打ちます。新しい行を入力するには送りリターンキーを使います。
- データ欄を入力するには文章修正ウインドウをクリックしてデータ欄ボタンをクリックします。データ欄ボタンの説明は“8.4 文章修正データ欄ボタン”に出ています。

終了するときはOKボタンをクリックしてページレイアウトウインドウに文章を入力します。

バッチフォーマット	読取値	作成日	平均	n<下限	顧客名
グリッド幅	鉄筋直径	作成日時	標準偏差	n>上限	工事名/調査名
バッチID	鉄筋規格	アップデート日	最大値	%<下限	工事箇所/調査箇所
データファイルの場所	上限設定値	ページNo.	最小値	%>上限	探査対象面
行数	下限設定値	閾値	範囲	n>>範囲	探査担当者
列数	単位			n<<範囲	メモ
				%>>	セルタイプ
				%<<	温度

OK キャンセル

テキスト

8.4 文章修正データ欄ボタン

データ欄ボタンの説明は下記です。

データ欄ボタン	説明
バッチフォーマット	“リニア”又は“グリッド”
グリッドスペース	各グリッド正方形のサイズ
バッチID	バッチ名
ファイルパス	コンピュータ上のデータファイルの場所
行	グリッドバッチの行数
列	グリッドバッチの列数
読取値	バッチ内の読取値の数
バーサイズ	バーサイズ／直径
バーシリーズ	“メートル法”、“英国法定規準”、“ASTM/カナダ”、または“日本”
上限	上限
下限	下限
単位	“mm”または“インチ”
今日のデータ	今日のデータ
データ作成	データレポート作成
データアップデート	データレポートのアップデート
ページNo.	レポートのページ数
しきい値	色変化のしきい値(概要レポート用)
平均	読取値の平均(中間)
標準偏差	読取値の標準偏差
最高	最高読取値
最低	最低読取値
範囲	最高読取値と最低読取値との差
n< 限值	下限以下の読取値数
n> 限值	上限以上の読取値数
%< 限值	下限以下の読取値割合
%> 限值	上限以上の読取値割合
n≫:	範囲以上(無限)の読取値数
n≪:	範囲以下の読取値数
%≫:	範囲以上(無限)の読取値割合
%≪:	範囲以下の読取値割合
顧客	顧客名
現場	現場名
場所	場所
エリア	エリア
技術者	技術者名
メモ	メモ
セルタイプ	Cu/CuSO ₄ 、Ag/AgCl など
温度	××°Cまたは××° F

9. サポート

このソフトウェア、鉄筋探査機の製品情報等は最寄りの営業所または、販売店へお問い合わせ下さい。